

第3回 岳北地域の高校の将来像を考える協議会 次第

日時：令和元年7月5日(金) 14:00～

場所：飯山市役所 4階 全員協議会室

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1) 長野県の高校改革方針と岳北地域高等学校の存続形態について

(2) 今後の両校に望まれる学びの姿について（意見交換）

4 その他

・次回開催日程について _____ 月 _____ 日 () _____ 時～

5 閉 会

第3回 岳北地域の高校の将来像を考える協議会の進め方

第2回協議会結果

飯山高校・農林高校ともそれぞれ特色があり、地域子ども達にとって、また地域にとって必要な高校であり、存続する方針で進める。
ただし、将来的な少子化において、どのような形で両校を存続させていくかを協議していく。

第3回協議会の論点

両校存続の形態

将来的に両校で5クラス

県の学びの
改革方針

農林高校の飯山高校
の地域キャンパス化

農林高校の
全国募集？

両高校で独立をし
両校連携で存続

地域キャンパス化した場合は
どういう形態でのキャンパス化か

農林高校校舎老朽化等の検討

両校の将来のあり方

地域としての両校のカリキュラム

農林高校

飯山高校

課題等

- ① 地元への定着率が高い。各種資格取得等が可能
- ② 卒後、農林業への従事者がほとんどいない
- ③ 入学者の減

課題等

- ① 国公立大学進学者の減 学力優秀者の減
- ② 学力差の拡大 卒業後進路の多様化
- ③ 入学者の減 3学科の将来のあり方

両高校のカリキュラムの検討

岳北地域の高校の将来像を考える協議会の進め方（事務局案）

